

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	恵那市立二葉幼稚園		
実 施 期 間	平成25年11月12日(火)		
実 施 概 要	・異年齢児とのかかわりを通して、思いやりの気持ちを育てる。 ・幼稚園の生活を知ってもらう。 ・保護者同士のかかわりを持ち、子育ての場にする(相談を受ける)		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	7人	計 99人
	地域関係者	92人	
実 施 状 況	・来園してくる未就園児と保護者に挨拶を交わす。 ・「元気いっぱい」の歌を歌う。 ・一緒に「おもたいそう」を踊る。 ・お買い物ごっこの説明をする。 (品物を見せ園児の代表当番を中心に、お店の雰囲気を出す) ・在園児が準備をしている間は親子交流をして待つ。 ・お買い物ごっこ(年長児が未就園の友達をつれて、お買い物をする) お母さんから手を離しても出来る子には、付き添って「何を買いたい？」 お店屋さんを一回り案内してから「どこの店屋さんがいい？」 ・これ？」「あっちへ行きたい？」等々会話をしながら買い物を楽しむ姿が随所で見られた。		
成果及び課題	・意見交流や感想をもらうことで、幼稚園・保護者・幼児同士のかかわりが深まってきた。また、在園児と未就園児の間で名前を呼び合ったり手をつないで教えあったりする姿も見られるようになってきた。 ・入園することが楽しみになったなど、保護者が喜んでくださる感想をもらうようになってきた。 ・年8回開催しているが、地域に広がり徐々に参加される人数が増えてきた(他地域からの参加者が増えた)。 ・今回はお買い物ごっこやふれあいあそびを通して、在園児とのかかわりが随所で見られ、未就園児の顔からも笑顔が見られ母親の嬉しそうな表情も垣間見られた。毎回いろいろなことを計画することに期待感も大きいことがうかがえた。 ・「計画表があることで参加しやすい」「内容が事前にわかっているので楽しみにしている」「感想が聞いてもらえるので一方的にならない」等の感想も寄せられた。活かしていきたい。 <在園児の姿から> ・靴を履くときから、履けるかしゃがみこんで見守る子・手を引いてどこへ行きたいか耳を近づけて聞く子・品物を手に取りどれにするかじっくりと待つ子、等々小さい子をいたわる姿が多く見られた。 ・感想も自由に寄せてもらい、出来ることは反映するようにしたことに参加者と一緒に、より「楽しい広場」になるよう心がけたことで、関心が高まってきた。		